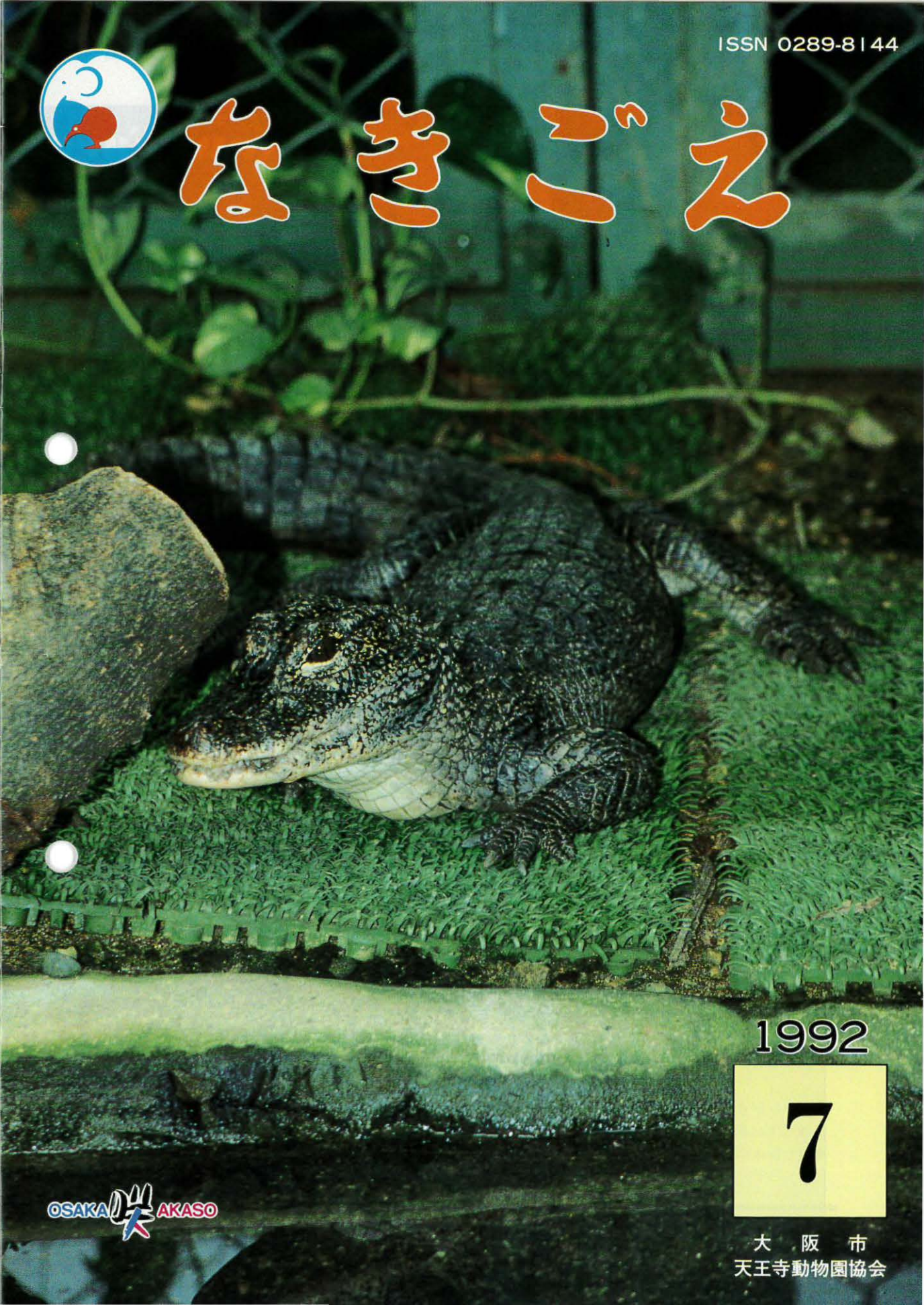




なきごえ



1992

7



(撮影：宮下 実)

もくじ

- 2 — New Face 巣の中は大にぎわい
- 3 — 動物と私 猫は鏡 (中浜 稔)
カバーウォッチング ヨウスコウワニ
- 4 — その後のアメリカの生態的展示 (若生謙二)
- 6 — 飼育下の動物行動調査とその解析へ
ニホンザルの配偶関係を調べる (大野尊信 他)
- 8 — グラフZOO 鳥の“くちばし”いろいろ
- 10 — キーパーズアイ
- 11 — ZOO DIARY

カバーウォッチング

ヨウスコウワニ
ワニ目 アリゲーター科

Alligator sinensis

中国の揚子江下流や太湖などにすんでいる全長2mほどのワニで、冬には川底や川岸の泥の中で冬眠します。当園にいる2頭は、1991年10月に中国の上海動物園から贈られたものです。

(撮影：竹田正人)

||||||| 動物と私 |||||

猫は鏡

「猫を通して自然と人間を考えよう」とのスローガンのもと「にゃん友会」(登録会員数1万7000名)を発足して15年になります。子供時代、自然にまみれて育った私には現在の都市生活の中では「これでいいのか」との疑問を発することが多く、その疑問の答をさぐるには猫が一番だったのです。自然や人間というものを客観的に考えるためにも足元にいる猫が最適だったのです。

猫は長年人間のそばで暮らしながら、人間に同化せず自然の息吹を濃厚に持っている生き物ですし、その生活形態は集団生活者である人間とまったく違います。彼らを見ることによって人間を考えると、私達をとりまく環境の変化や、人情・価値観といったものの変化がよくわかります。私にとって猫は単にかわいいだけの動物ではなく世の中を写す鏡であり、色々なことを考えさせてくれるまことにありがたい生き物なのです。いうまでもなく私達人間の生活は他の動植物と深い関係を持っていますし、人間だけでは生きられません。ところが近代社会はそうした大事なことをなぞ



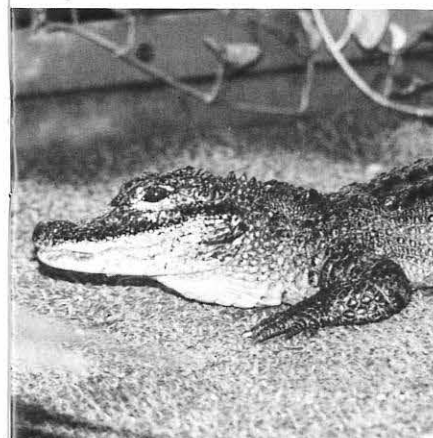
中浜 稔さん
(にゃん友会会長)

りにした方向にばかり進んできたのです。その結果、現在都会の人が接しられる動物といえばペットの犬、猫や、公園のハト、あとはドブネズミやゴキブリ、夏の蚊位のもので。あまりにも人間本位に“便利さ”を優先させすぎもって大事な何かを失ってしまったのです。しかし、そうしたことも日常あまり真剣に考えたことがないという人が大半です。最近やっと地球規模で環境や自然の問題がとりざたされるようになってきましたが、一般人にとってはまだまだ「そんなことどころか」といった意識が現状でしょう。特に都会の子供達は自然と離れ、他の生き物と接する機会がないまま育ちます。先にあげた「人間は他の動植物に依存して生きている」という常識すら実感としては希薄です。食物も大半のものが加工物であり、ビニールでパックされスーパーで売られています。子供達はほとんどその“原形”を知りません。知識としては知っていても実感できないまま生活しているのです。そうした現状ではいくら自然の大事さや他の動物の大切さ、生命の尊さなどを説いてもわかりにくいのが当然です。子供時代はおおいに他のものをかわいがり、いたぶることを経験することによって、それに対する本当の愛情や思いやりの心が培われます。私達の子供の頃は今程“物質的”にはめぐまれていない反面、自然や動物に接する機会がたくさんありました。それは裏を返せば毎日毎日が“生命”というものを考えざるをえない“殺生”の連続ともいえたのです。毎日の生活が他の生物の生命をうばうことで成りたっていたのです。遊びひとつとっても昆虫をつかまえ、魚をとり鳥を追いかけるようなことが中心だったのです。

乱 暴な言い方をすれば生命の終焉を知らない者に、生命の尊さや大事さがわかるはずがありません。そうした体験が少ない現在は本当に進歩した世の中といえるのでしょうか。

← 巣の中は大にぎわい シュバシコウ
コウトリ目コウトリ科

毎年順調に繁殖をしているシュバシコウが、今年も“鳥の楽園(バードケージ)”内の3カ所の巣で計7羽ふ化しています。写真の巣ではなんと4羽のヒナが成育し、大にぎわいです。



その後のアメリカの生態的展示

若生謙二〔日本造園学会会員〕

アメリカの動物園における生態的展示はすでに全米にひろがりをみせ、現在では一つの時代を画する存在となりつつあります。ハーゲンベック以来ともいえるこの動物園展示の革命は、今後どのような推移をたどることになるのでしょうか。これらの動きをとらえるために、昨年アメリカの動物園をおとすれましたので、その後のアメリカの生態的展示について述べてみることにします。

1977年のウッドランドパーク動物園の温帯落葉樹林地区の展示にはじまるアメリカの動物園の生態的展示の動きは、これらが既存園の再生計画として行われていることが特徴です。比較規模の大きなものは、基本構想にそって展示ごとの長期の改造が行われています。そして改造が長期にわたるものは、おそらくみなそれぞれはげしい討議の末に生みだされた他園の展示を意識して、当初の案に検討を加え、さらに磨きかけた展示が生みだされているのです。

規模の小さなものとしては、1988年に再生したニューヨークの2.2haのセントラルパークの動物園の例がみられますが、これにしても改造には工期だけで5年の歳月を要しており、面積が小さいだけで内容的には、すでに生態学の博物館ともいえるものとなっています。

生息地別配列を行い全米に影響をおよぼすことになったウッドランドパーク動物園は、基本構想の策定後、15年を経過していますが、今なお改造の途上にあります。このような動きのなかで、最も大きな変革の途上にあるのは、ニューヨークのブロンクス動物園でしょう。ブロンクス動物園は、すでに1899年の設立当初から他園に先がけて動物を生息地の景観の中で展示することを構想にかかげていました。

1920年代から30年代にかけては、アメリカの動物園界にハーゲンベックの旋風がおよび、多くの動物園の風景はさまざまな擬岩につつまれることになりました。しかし、ブロンクスはこの動きに冷静でした。擬岩の展示に疑問をいだいていたブロンクス動物園にハーゲンベックの影響があらわれたのは、1941年の「アフリカ平原」の展示です。ここでは主として植物の相観によって展示景観が構成されており、展示をより生態学的に位置づけていた様子をおうか

がうことができます。

ブロンクス動物園も1970年代のはじめには、動物地理学的配列をめざして改造をすすめていましたが、その後、生態的展示の流れに身をまかすようになりました。この動きに対するブロンクスの反応は決してはやいとはいえませんでした。しかし、着実にみがきぬかれた展示を行い、事実上、生息地別配列として魅了しつつあります。

すでに有名な作品となったジャングル・ワールドやヒマラヤン・ハイランドをもって、全米をおおった一連の生態的展示の動きに対する回答と考えていた私は、昨年、新たにここを訪れて、これらがほんの序章にすぎなかったことに気づきました。ブロンクスにおける生態的展示のドラマは開幕したばかりなのです。アフリカ平原の展示に隣



接して1990年にエチオピア高地の展示が完成しています。この地区の展示ではエチオピアの乾燥した気候を反映して、園路には赤土のヒビ割れた様子まで再現されています。園路は礫層までがあらわになってせりだした土の壁にかこまれており、低い石積みもエチオピアの雰囲気をかもしだす茅葺きの屋根におおわれた丸太づくりの小屋にむかいます。

この小屋の前はガラスばりで、奥には一面に岩盤の露出したエチオピアの高地の景観が広がっています。岩の上にはゲラダヒビの群れのくらす様子を、みあげるようにガラス越しにながめることができます。このビジターセンターには望遠鏡までがすえつけられており、目前にひろがる雄大な岩場とゲラダヒビの姿をみていると、現地にいるような印象をうけます。

まがりくねった赤土の園路をすすむと、地層の断面にうもれた化石があらわれ、絶滅したジャイアントゲラダヒビの化石の発掘現場の様子が再現されています。この展示はすさまじいリアリズムです。



上空からみたブロンクス動物園のエチオピア高地の一角には、象牙をとるために牙がぬかれ、くちはてて草と土にまみれたアフリカゾウの骨が展示されてい

た。ブロンクスにおける生態的展示のドラマは開幕したばかりなのです。アフリカ平原の展示に隣

接して1990年にエチオピア高地の展示が完成しています。この地区の展示ではエチオピアの乾燥した気候を反映して、園路には赤土のヒビ割れた様子まで再現されています。園路は礫層までがあらわになってせりだした土の壁にかこまれており、低い石積みもエチオピアの雰囲気をかもしだす茅葺きの屋根におおわれた丸太づくりの小屋にむかいます。

この小屋の前はガラスばりで、奥には一面に岩盤の露出したエチオピアの高地の景観が広がっています。岩の上にはゲラダヒビの群れのくらす様子を、みあげるようにガラス越しにながめることができます。このビジターセンターには望遠鏡までがすえつけられており、目前にひろがる雄大な岩場とゲラダヒビの姿をみていると、現地にいるような印象をうけます。

まがりくねった赤土の園路をすすむと、地層の断面にうもれた化石があらわれ、絶滅したジャイアントゲラダヒビの化石の発掘現場の様子が再現されています。この展示はすさまじいリアリズムです。

この地区をぬけると、古くからある有名なアフリカ平原へとつづきます。アフリカ平原の一角には、象牙をとるために牙がぬかれ、くちはてて草と土にまみれたアフリカゾウの骨が展示されてい

ます。この展示もエチオピア高地と同時に設けられたようです。

ブロンクス動物園の変貌はさらにつづきます。1908年にたてられたクラシックな建築物であるゾウ舎は、動物園センターとしてよみがえりました。建物の周囲では、アジアゾウ、スマトラサイ、マレーバクの野外展示が行われていますが、これらの展示は、80年代に行われてきた生態的展示とは一味異なっています。

動物の展示をひきたてる修景部分の展示では、鬱蒼とした森林に沼地がひろがり、文字通り苔むした倒木が横たわっています。風景づくりには遠近感が強調されており、徹底した自然主義がとり入れられています。しかし、あまりのできばえによく眺めて見ると、きわめて自然主義的に作りあげられたこれらの森林や沼地の風景が、北アメリカの原生自然の景観をイメージしていることに



気づきます。アジアゾウとスマトラサイの展示をむすぶ景観の自然度をあげようとする結果、はからずもあらわれた本音なのではないでしょうか。私は、動物園の生態的展示がなぜアメリカでおこり、このようにアメリカ全土に広がりを見せているのかということに注目してきましたが、このシーンはこれからの動きの背景をものがたっているように思えます。

ブロンクス動物園の変革は、現在もつづけられています。これらはメトロポリタン美術館やアメリカ自然史博物館のように巨大な展示の集積となり、アメリカの文明のストックを形づくってゆくことになるのでしょうか。

同じ1990年には、ダラス動物園でこれまでの生態的展示とは質の異なるもう一つの展示が完成しました。「The Wild Africa」の一角にあるゴリラのすむ森です。灌木や高木のおい茂った園路をすすむと、緑につつまれた風景がひろがります。園路からは堀でさげられていますが、小山のような起伏がつけられており、鬱蒼とした緑の風景には変化があります。この森は広大で植栽による変化にとんでいるために、ゴリラを探しだすことは容易ではありません。そのため木製のビジターセンターにはモニターテレビが設置されて、ひそかに彼らの居場所を探ることができる仕組みになっています。

少し距離はありますが、樹木のなかで利用者の視線からの自由をもち、緑の樹木を背にしたゴリラの姿は、いきいきとしており、悠然とこちらをながめるそのまなざしには尊厳を感じることができます。この展示は、これまでの数年間の生態的展示の技術と考え方を集大成した作品ではないか

と思います。

最近の生態的展示をとりいれて改造を行っているアメリカの多くの動物園の展示では、サバナにおける擬岩の*カピーにみられるように同じ技法のひきうつしもみられており、すでに様式

化のきざしもあらわれはじめています。しかし、一方ではこのようにより自然度の高い生態的展示をめざす動きもあらわれているのです。これらとともに1990年の作品であることにも目をむける必要があるでしょう。ウッドランドパーク動物園の展示から13年をへて、生態的展示は初期の目的をはたし、次の時代にさしかかりつつあるのかも知れません。

1977年以降のアメリカにおける生態的展示の発達は、アメリカの歴史において可能になったといえることができます。アメリカの歴史は、19世紀の末まで急速に西部へと広がるフロンティアの移動の歴史でした。それは同時にフロンティアの移動とともにあらわれたウィルダネス(原生自然)とのたたかいの歴史でした。アメリカ人は日本やヨーロッパと異なり、ウィルダネスとは密接な関係にあったのです。

生態的展示はきわめて短い期間に全米に波及し、さらに進歩した生態的展示が行われつつあります。このことは急速にウィルダネスを減少させてきた歴史の中で、そこに特殊の価値をみいだす国民性が形成され、生態的展示によって形づくられた動物のいる自然の風景にウィルダネスを感じるためではないかと考えられるのです。したがって、生態的展示はリアリズムでなければなりません。また、このように考えるとブロンクス動物園の鬱蒼とした森林の風景もウィルダネス希求のあらわれとらえることができます。

アメリカの生態的展示は、このところ日本の動物園にも影響をおよぼしつつありますが、生態的展示のリアリズムはアメリカにおけるこのような歴史性のなかで、生みだされてきたということにも注意をはらう必要があると考えられるのです。

※編集部注：カピー(Kopje)

アフリカのサバナに点在する岩山で独自の生態系を形成しており、ハイラックス・アガマ類のトカゲなどが生息している。

※本誌 1987年2月号「動物園における生態的展示」と1989年9月号「自然認識と生態的展示」もあわせてごらん下さい。

飼育下の動物行動調査とその解析へ ニホンザルの配偶関係を調べる

本年1月号に少し書きましたように、第一位オスザルの交尾期の行動は興味深いものがあります。メスザルを独占するのか、あるいはメスザルがその対象として第一位サルを選ぶのか、又、結果として第一位オスが子孫をより多く残しているのでしょうか。

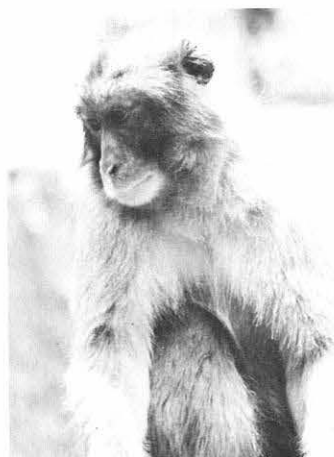
§ 個体識別をする

動物の行動調査をするために基本的なものとして個体識別はかかせません。当園のニホンザルの場合、入園当初から残っている個体には胸の所に番号が入れ墨されていますが、毛の下に隠れているため換毛期でもないと判別は困難です。そのため、90年度当時飼育個体すべてについて新たに個体識別を行いました。結果、90年～91年の交尾期の配偶関係については不十分でしたが、91年度の出産期には精度も増して信頼できるデータを得ることができました。引き続き秋の交尾期の配偶関係を調べた結果、当園でのニホンザルの社会の概要らしきものの手がかりをつかめたように思います。

§ 配偶関係の調査

ニホンザルの交尾期は秋から冬にかけてです。1991年9月7日、まだまだ残暑厳しい日でした。第一位オス、“モミジ”が“ツチヤマ”に交尾しているのが確認されました。本格的な時期には早いと思いましたが、いよいよ交尾期の到来と記録しました。以後、“モミジ”は他の個体とも交尾しているのが続いて確認されて目が離せなくなり、同時に調査の楽しみもわいてきたのです。

10月31日、野山の色づきと平行するかのよう、サルたちの顔や尻が赤味をましてきました。交尾期がトップにさしかかったと思われるこの日“リンゴ”が“オセン”に交尾しているのを目撃しました。90年度は未熟な観察力だったと思いますが、“リンゴ”の交尾などの繁殖行動は一回も確認していませんでした。“リンゴ”は“モミジ”よりはるかに若い個体ですし、順位づけするにしても決して高いとは思えません。その時、非常に興味深いシーンをみました。(ニホンザルの交尾はマウントから射精にいたるまでに、オスザルがメスザルの後に密着、あるいは正面で抱き合うというような行動があり、数回のマウントの後射精にいたります。そこで、密着しているペアを確認した時からコンソート関係と認め交尾などと同様、配偶関係にあったとしました。)



若いオス、の“リンゴ”

“リンゴ”が交尾している場所は“モミジ”の死角だったのです。堂々と山の中腹で交尾するモミジに比べ地上部でモミジの目を気にしながらの落ち着きのないものでした。あくまで推測ですが、後日

リンゴは後脚から出血していました。大怪我ではありませんでしたが、モミジから攻撃されたものではなかったかと思えます。以後、グラフでも判るように、ひるむことのないリンゴの交尾を確認しました。何頭ものメスに認められた証拠だったと思われま

§ “リンゴ”の台頭の理由

“リンゴ”が何故これほど繁殖戦略に数多くかかわってきたのでしょうか、前年度までの資料不足があり決めつけることは危険ですが、メスザルに選択権があるというサルの社会にあって“リンゴ”がオスとして魅力的に成長したのだと思えます。

擬人化した表現を許してもらえらば、“モミジ”以外のオスザルと比べて非常に存在感のあるサルだといえます。体をゆすって歩き、普段から尾を上げて歩くことが多いようです。自己主張が強いのか、トビラをつよくゆすり大きな音をたてたり、掃除にはいっているとホースを引っ張るなどのイタズラをするのも“リンゴ”が一番です。此っっても少し距離があるときにはわざと意識してホースをゆすり、こちらの出方を確かめるような反抗的な行動を見せます。このような“リンゴ”の目つきは誰かに似ていると思っていいたらジェームスディーンが目そっくりです。

§ データを整理する

記録されたデータは“観察日・個体名・行動”でした。

データを整理するには目的が必要です。(実際には記録をとる時点で決まっています。) 事前

に記録をとる担当者と話し、前述のように秋の交尾期の配偶関係から、サル島の社会について調べようという結論になりました。

行動は、“交尾・コンソート・追尾・グルーミング”の4つについて記録されていましたが、観察から、交尾とコンソートを配偶関係にあるとして採用しました。

整理にはパーソナル・コンピューターを利用し、ソフトウェアは「桐Ver.3」を使いました。

まず、個体管理ファイルをつくりました。個体名・雌雄・生年月日・母親の項目をつくったのですが、生年月日や母親が正確に記録されていない個体は何頭かいました。(問題点)

次に、記録を入力するファイルをつくり、'91.9.7～'92.2.5の記録を1992年度分として入力していきます。全てで93件の記録ですから、入力するのに1時間もあれば完了しました。

そして、“行動”の項目から“交尾”と“コンソート”34件を選択します。これをオス・メスそれぞれの傾向を見るためにグラフに加工しました。

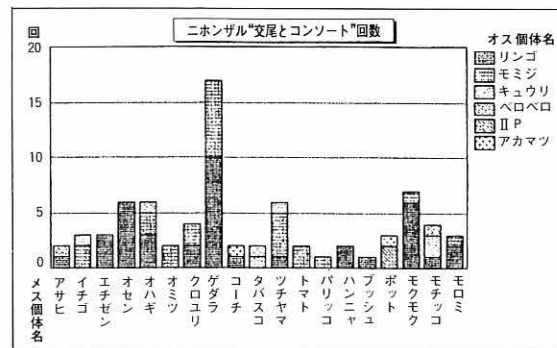
一度入力してしまえば、後の加工にかかる時間が少なく、またグラフ化し数字が目に見える形になるため多くの情報を引き出しやすくなります。

今回のデータ整理は解析といえるようなものではありません。まあ一回の繁殖期に観察されたことを整理し、集めたデータの不十分なところや観察の方法を考えるなど、今後の観察に役立てる位に考えて下さい。例えば(問題点)として前述の個体管理を、より正確にすれば母系集団や年齢による繁殖戦略など多くの事が見えてくるかもしれません。

§ データから読めるもの

今回回収されたデータは、1日中観察しているわけではありませんので、実態の何パーセント位かわかりませんが、91年9月～92年2月までの93例を対象としたものです。

メスザルはその年出産経験個体にも配偶関係は認められました。そして、老齢個体の“ヒミコ”を除いて適齢年齢すべての個体に配偶関係が認められました。(92年5月末現在5例の出産例のうち、4例が前年度未出産と未成育、1例連続出産です。)



オスザルの傾向としては、やはり“モミジ”と“リンゴ”が最も多く確認されました。

メスでずばぬけて多いのが“ゲダラ”(前年末出産)です。理由はわかりませんが対象オスは“モミジ”と“リンゴ”のみでした。続いて“モクモク”、“ツチヤマ”、“オハギ”、“オセン”ですが前2頭は今年すでに出産しています。“オセン”も前年度未出産です。“オハギ”は前年度一番早く出産しています。そしてメスの中では優位個体だといえます。

又、“ポット”というメスはまだ4才の若すぎる個体で、体も小さいのに立派に陰部の腫張があり、初発情でした。しかし、どのオスにも相手にされないためか、私に何回もディスプレイをしては柔らかい陰部を私の手の上にのせてくれました。彼女が配偶関係できたオスは“ソーポイント”ですが、彼もまた未成熟の個体でした。彼の迷惑そうな姿が印象的でした。

成オスのなかで配偶関係が未確認だったのは、“ソーメン”、“ライス”、“ナチグロ”、“ミズキ”、がいますが、前2頭はやはり存在感の薄いサルだといえます。

今年も続々赤ちゃんが誕生しています。昨年初産のためかこどもを上手に育てることができなかった“モチッコ”も、今年のみちがえるように落ちて今とところまよく育てているようです。

そして、今年も出産前に第一位オス、“モミジ”にグルーミングされているメスが確認されました。

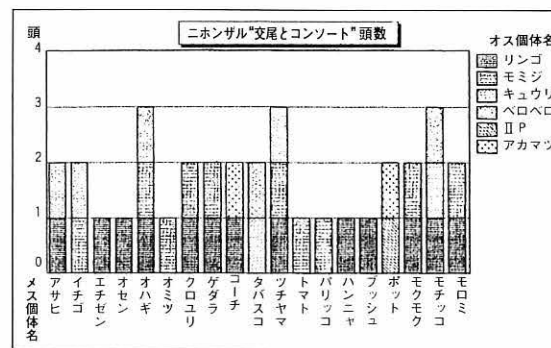
現在、交尾期と非交尾期のオスとメスの関係が比較できないかと注目して観察を続けています。

又、偶然でしょうか、昨年と今年17例の出産の内メスはたったの2例しかありません。少し興味があります。

§ 最後に、

今回データの記録はサル島担当の大野と岡田が行い、解析はコンピューターを用いて早川が行いました。

(飼育課 大野尊信 岡田博之 早川 篤)





オオサイチョウ

主食は果実ですが、小動物も食べます。大きくくちばしの内部は海绵体状で軽くなっています。



タンチョウ

小魚や小さな水生動物、昆虫、穀類な
さなエサをつまみとるための細長いくちばし
をしています



ニホンキジ

地上や地中の動物や草木の実をついばむこ
とのできる土掘式のくちばしをしています。

ぐらつZOO

鳥の“くちばし”いろいろ

鳥は住んでいる環境や、食べるエサの種類により、様々なくちばしを持っています。

みなさんはどんなくちばしをご存知でしょうか？

(撮影：前田 茂)



オジロワシ

肉食の猛禽類の太くてまがったくちばしは、
獲物を引き裂くためのものです。



チリーフラミンゴ

水底の泥をさらってろ過し、残ったプラン
クトンを食べるためのくちばしを持っていま
す。



ヒクイドリ

深い密林に生息し、木の実や葉が主食で、
魚や貝なども食べることがあります。



モモイロペリカン

下くちばしをたも網のように使って魚をす
くいとるようにしてとらえます。

キーパーズ アイ

☆ 巣の中はヒナぞいっぱい



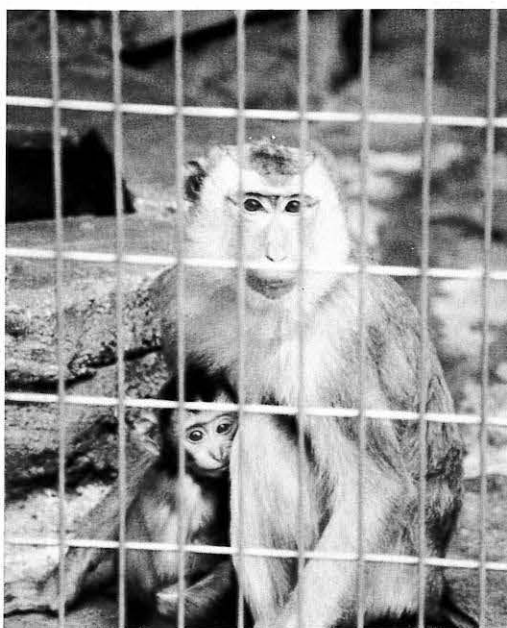
新緑も深まる5月のこどもの日にシュバシコウのヒナ、3羽が一つの巣から頭を出しているのが、確認されました。

そして9日後、また1羽確認され合計4羽になりました。ここ1~2年は、1つの巣に1羽、多くて2羽の成育が、普通ですので、今回のように4羽のヒナを確認したことは、珍しいことだと思います。最後に確認されたヒナは、他の3羽より体が小さいので、エサが足りないのではないかと、成育が心配されましたが、親鳥の運んできたエサを争うように必死で食べているようでした。

親鳥も4羽のヒナを育てなくてはならないので、何回も、エサ場と巣を往復して、育雛に疲れ果てていたと思います。それから1ヶ月が過ぎ、天候にもめぐまれ、親鳥の必死の努力により、4羽とも大きくなり元気に成育しています。

そして、この冷たい梅雨を元気にのりきって、立派に巣立ちしてくれることを楽しみにしています。
(飼育課：久田 治信)

☆ マタオザルは子育てじょうず



今年になりサル・ヒビ舎では3頭の赤ちゃんが生まれました。内訳はブタオザル1頭、マントヒビ2頭です。今回はブタオザルの子育てを紹介します。

3月30日にメスの子供を出産しました。母親にとっては初めての出産です。この親は子供を生む前に、他の親が生んだ子供を使って子供のだき方を練習していました。だから子供を生んだ日から子供のだき方はけっこう板に付いていました。(練習してないサルはぎこちない。)

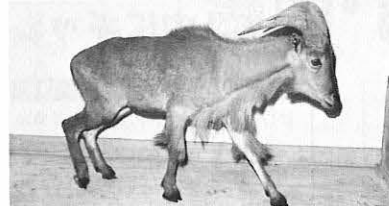
現在では子が親の手から放れて1頭で動き回ろうとするのですが、まだまだ危なっかしく目の離せない状態で横にぴったりとつきそっています。移動するときなどはすぐに子をだき移動します。これからは、子供に教育を行なう時期です。しっかりものの母親ですので、ちゃんと教育し、りっぱなブタオザルに育ててくれるでしょう。

他のサルでも子育てを行なっているものが多いです。来園された時は、子育ての様子も観察して下さい。

(飼育課：岡田 博之)

- 5 / 1. シジュウカラを1羽保護しました。
- 5 / 5. 今年2頭目のマントヒビの赤ちゃんが生まれました。性別はメスでした。シュバシコウのヒナを3羽確認しました。“春の動物と花のフェスティバル'92”が閉幕しました。
- 5 / 8. レアが今年初めての卵を産みました。
- 5 / 9. ビヨウのメスが難産のため、麻酔をして帝王切開の手術をしました。残念ながら子宮内に残っていた胎児はすでに死亡していました。
- 5 / 10. 「野鳥展」が、展示館で始まりました。これは5月10日からの愛鳥週間にちなんで当園が毎年、野鳥に関する知識と理解を深め、野鳥の保護と愛鳥思想を普及するために、大阪府と共催で開催しているものです(5月31日まで)。
- 5 / 11. フラミンゴの繁殖を促すため、フラミンゴ舎に土を入れ、人工の巣を4個作りました。
- 5 / 14. キョンのメスが1頭生まれました。

5月15日 パーバリシープのオス1頭が、静岡市立日本平動物園から来園しました。これは、パーバリシープの近親交配を防ぐ



ために、寄贈していただいたものです。来年には4歳になりますので、繁殖が期待されます。これで当園のパーバリシープは、19頭となりました。

5 / 16. 昨年生まれのカリフォルニアアシカの体重測定を実施したところ、前月6日より10kg減少していました。母親のミルクがもう出なくなったものと判断し、別室に隔離し強制的に離乳させることにしました。

5月17日 コアラの子供の「命名式」を行いま



した。昨年7月26日に生まれた赤ちゃんの名前を4月に募集しましたが、このたび「ミック(未来)」に決まりました。遠くは北海道の方、最高齢は97歳のお年寄りまで計8,979通もの応募がありました。まず多い順からベスト10まで選出し、他園で飼育されているコアラの名前や、すでに他の動物についている名前などを除いた、残る7点の中から選び出したものです。両親の「ハク」と「ミドリ」から一字ずつとった名前にもなり、また「未来」という漢字が「ミック」とも読めると

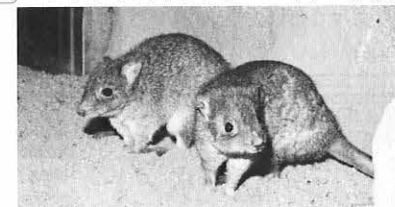
今月もおもしろ情報満載

ZOO DIARY

ということで、この両者をあわせた応募数102通から、抽選で100名の方に記念品を贈呈しました。

5 / 18. ハクビシンの子供が生まれました。妊娠期間は57日でした。

5月20日 フサオネズミカンガルー(オス2頭)



が来園しました。これは東京都恩賜上野動物園のご好意により贈られたもので、検疫終了後は夜行性動物舎に展示する予定になっています。

5 / 21. セイランが1羽自然ふ化しました。

5 / 22. タンチョウが1羽ふ化しました。

5月24日 2羽目のタンチョウがふ化しました。



これで5年連続の繁殖となりました。オス親は当園生まれの10歳、メス親は京都市動物園生まれの11歳です。昨年は2羽ふ化したものの、1羽しか成育しませんでした。今年は2羽とも順調に成育することを期待したいものです。

5 / 25. ニジキジが4羽自然ふ化しました。

ニホンジカが今年初めて生まれました。キーウィ4羽の体重測定を実施しました。

5 / 29. キアシシギを1羽保護しました。

☆テレホンサービス：771-9999 ☆お知らせ

- 動物園クイズ「動物あてクイズ」
「私はだれでしょう」
日時：7月19日(日)、午後1時~2時
場所：レクチャールーム
- ホッキョクグマに氷柱プレゼント
日時：7月22日(水)、午前9時30分~
場所：ホッキョクグマ舎
- 動物の愛語標語募集 期間：7月1日(水)~7月31日(金)
- 第18回サマースクール 期間：7月21日(火)~7月26日(日)
(参加者は募集済みです)

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価600円

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間とは？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

くらしとかがたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしと かがた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきもの くらしと かがた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。

☆ ぴかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



マスターのポップコーン



<営業品目> 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06) 865-0165

オートフォーカスカメラに

フジカラー SUPER HG 400

ピントが合いやすいフィルムです



カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031
OHVAC店
（ギャレ大阪） ☎346-7606

全国の愛犬家の共感を呼ぶ無比の愛犬歌集

絶賛四版

歌集 犬の歌

平岩米吉著

著者が、約四十年の間に、共に暮らした七十余頭の犬の生と死を歌った四百十九首を収録。同時に、その誕生より老齢に至る写真四十七図を収めた、犬の一生の生態写真集でもある。

天金・美装箱入
B6判・270頁
3000円・千不要

<感動の言葉>

- ☆ この歌は愛犬と異体同心の境地である。（英文学者）
- ☆ 人として注ぎ得る愛情の極致を示している。（動物研究家）
- ☆ 一首ごとに、ことごとく魂にひびく歌です。（動物愛護家）

●本書は、書店ではお買い求めになれません。直接当会へお申し込みください。

〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 動物文学会 電話(03)717-1659/振替・東京5-9800

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料480円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

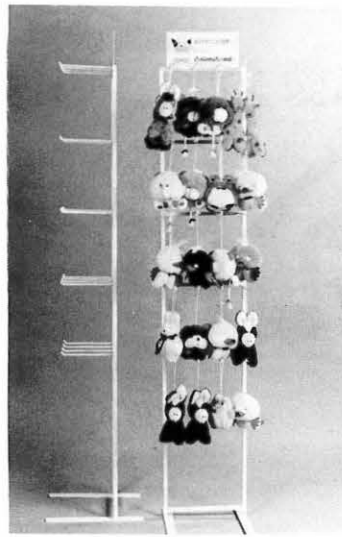


コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

オールカラー
500円

園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

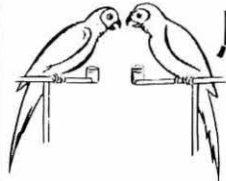


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

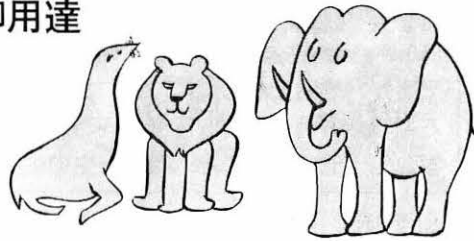
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話 (078) 221-8195(代)

たのしい動物のお話は、 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、 ご休憩は

動物園内.....

中央売店

TEL 06-771-0973



お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110



園内での写真は... 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願ひ致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444



Our yogurt has fruity
and rich texture!!

“生イキヨーグル”と
覚えてね。



「ほりたてミルクのおいしさが、生きている。」

雪印
オガール

希望小売価格 130g/各120円 250g/各220円(税別)



HIJIRI-KOJIMA

一日
愉快地
たのしめる!!



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ 1992年7月10日発行(毎月10日発行)第28号 第7号 (通巻323号)

編集/大阪市天王寺動物園事務所

発行人/大阪市天王寺動物園協会 土井良彦

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪3-37823

編集委員

(中山良三郎/村上昭/中尾啓一/樽本勲/中川哲男/吉本昌俊/山根和弘/大谷直樹/宮下実/長瀬健二郎/榎原安昭)
(森本委利/竹田正人/永田健一/前田茂/大野尊信/野口秀高/早川篤/堀内智生/大川光雄/土谷正道/山元貞幸)